

2017年2月2日
パナソニック株式会社

— 2016年度 第3四半期 —
連 結 決 算 概 要



(単位：億円)

	第3四半期（12月31日に終わる9ヵ月間）		
	2016年度	2015年度	前年同期比
売 上 高	53,500	56,713	94%
国 内	25,926	26,196	99%
海 外	27,574	30,517	90%
営 業 利 益	2,406 (4.5%)	3,203 (5.6%)	75%
税 引 前 利 益	2,318 (4.3%)	2,545 (4.5%)	91%
当社株主に帰属する 当 期 純 利 益	1,754 (3.3%)	1,602 (2.8%)	109%
基本的1株当たり 当社株主に帰属する 当 期 純 利 益	75円56銭	69円18銭	6円38銭
希薄化後1株当たり 当社株主に帰属する 当 期 純 利 益	75円54銭	69円17銭	6円37銭

(注) 1. 当社の連結決算は米国会計基準に準拠しております。

2. 連結対象会社数(親会社および連結子会社) 498社 持分法適用関連会社数 96社

[お問い合わせ先] コーポレート戦略本部 経営企画部 TEL 06-6908-1121

連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	2016年度 〔2016年4月1日から 2016年12月31日まで〕		2015年度 〔2015年4月1日から 2015年12月31日まで〕		前年 同期比
		%		%	%
売上高	5,350,028	100.0	5,671,314	100.0	94
売上原価	3,809,201	71.2	4,031,383	71.1	
売上総利益	1,540,827	28.8	1,639,931	28.9	94
販売費及び一般管理費	1,300,270	24.3	1,319,677	23.3	
営業利益	240,557	4.5	320,254	5.6	75
営業外損益(△は損失)	△ 8,718	△ 0.2	△ 65,758	△ 1.1	
(受取利息)	(11,074)	(0.2)	(16,198)	(0.3)	
(受取配当金)	(1,715)	(0.0)	(1,602)	(0.0)	
(支払利息)	(△ 10,773)	(△ 0.2)	(△ 13,587)	(△ 0.2)	
(早期退職一時金)	(△ 3,108)	(△ 0.1)	(△ 5,321)	(△ 0.1)	
(その他)	(△ 7,626)	(△ 0.1)	(△ 64,650)	(△ 1.1)	
税引前利益	231,839	4.3	254,496	4.5	91
法人税等	52,731	1.0	87,703	1.6	
持分法による投資利益	8,884	0.2	11,520	0.2	
当期純利益	187,992	3.5	178,313	3.1	105
非支配持分に帰属する 当期純利益	12,607	0.2	18,093	0.3	
当社株主に帰属する 当期純利益	175,385	3.3	160,220	2.8	109

(注) 1. 営業外損益の「早期退職一時金」は、国内・海外グループ会社の早期退職に伴う費用です。

2. 減価償却実施額(有形)	162,859 百万円	175,463 百万円
3. 設備投資の実施額	196,750 百万円	160,909 百万円
4. 研究開発費	339,296 百万円	344,204 百万円
5. 従業員数	255,975 人	252,604 人

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	2016年度 〔2016年4月1日から 2016年12月31日まで〕	2015年度 〔2015年4月1日から 2015年12月31日まで〕	前年 同期比
当期純利益	187,992	178,313	105 [%]
その他の包括利益 (△は損失)-税効果調整後： (為替換算調整額)	(△ 12,723)	(△ 71,453)	
(有価証券未実現損益)	(1,386)	(12,504)	
(デリバティブ未実現損益)	(△ 1,220)	(△ 1,284)	
(年金債務調整額)	(19,552)	(31,496)	
計	6,995	△ 28,737	
当期包括利益	194,987	149,576	130
非支配持分に帰属する 当期包括利益	7,676	8,752	
当社株主に帰属する 当期包括利益	187,311	140,824	133

セグメント情報

(単位：億円)

	2016年度 〔2016年 4月1日から 2016年 12月31日まで〕					2015年度 〔2015年 4月1日から 2015年 12月31日まで〕		
	売上高	前年 同期比	セグメント 利益	利益率	前年 同期比	売上高	セグメント 利益	利益率
アプライアンス	18,052	101%	1,025	5.7%	151%	17,885	681	3.8%
エコソリューションズ	11,187	96	461	4.1	78	11,697	587	5.0
AVCネットワークス	7,515	87	415	5.5	77	8,608	539	6.3
オートモーティブ& インダストリアルシステムズ	19,029	92	855	4.5	96	20,632	889	4.3
その他の	4,003	100	△ 24	△0.6	—	4,023	31	0.8
計	59,786	95	2,732	4.6	100	62,845	2,727	4.3
消去・調整	△ 6,286	—	△ 326	—	—	△ 6,132	476	—
合計	53,500	94	2,406	4.5	75	56,713	3,203	5.6

(注) 1. 事業区分の方法

- ・ 当社の事業を、内部経営管理と同期化させたカンパニー毎のグローバル連結ベースで、セグメントに区分しております。
- ・ 2016 年度より、一部のセグメント区分を変更しております。2015 年度のセグメント情報については、2016 年度の形態に合わせて組み替えて算出しております。

2. 「セグメント利益」の「合計」欄は、全社連結決算の営業利益に合致させております。

各セグメントの利益は、2016 年度より従来の営業利益にかえて、営業利益に、金融収支および為替差損益を除いた営業外損益項目等を加味した数値を用いております。2015 年度の各セグメントの利益についても、2016 年度と同じ方法で算出しております。

3. 「セグメント利益」の「消去・調整」欄には、各セグメントの利益に加味される営業外損益項目等の消去に加えて、セグメント業績の管理上、特定のセグメントに帰属しない収益および費用や、連結会計上の調整項目（一部の無形資産償却・会計基準差異等）が含まれております。

連 結 貸 借 対 照 表

(単位：百万円)

	2016年度第3四半期末 (2016年12月31日現在)	2015年度末 (2016年3月31日現在)	増 減
流 動 資 産	3,407,664	3,054,359	353,305
現金及び現金同等物	1,146,300	1,014,264	132,036
定期預金	—	146	△ 146
受取手形	75,438	58,715	16,723
売掛金	891,792	787,033	104,759
貸倒引当金	△ 22,076	△ 22,196	120
棚卸資産	833,275	756,448	76,827
その他の流動資産	482,935	459,949	22,986
投資及び貸付金	344,190	344,499	△ 309
有形固定資産	1,310,282	1,301,175	9,107
その他の資産	1,082,871	896,949	185,922
資 産 合 計	6,145,007	5,596,982	548,025
流 動 負 債	2,418,644	2,380,900	37,744
社債及び短期借入金	24,782	21,728	3,054
支払手形	238,044	230,065	7,979
買掛金	742,841	712,179	30,662
その他の流動負債	1,412,977	1,416,928	△ 3,951
固 定 負 債	1,744,559	1,361,768	382,791
社債及び長期借入金	1,100,036	704,191	395,845
その他の固定負債	644,523	657,577	△ 13,054
負 債 合 計	4,163,203	3,742,668	420,535
当 社 株 主 資 本	1,835,236	1,705,056	130,180
資本金	258,740	258,740	—
資本剰余金	980,822	979,895	927
利益剰余金	1,282,640	1,165,282	117,358
その他の包括利益 (△は損失) 累積額	△ 456,402	△ 468,328	11,926
自己株式	△ 230,564	△ 230,533	△ 31
非 支 配 持 分	146,568	149,258	△ 2,690
資 本 合 計	1,981,804	1,854,314	127,490
負 債 及 び 資 本 合 計	6,145,007	5,596,982	548,025

(注)その他の包括利益 (△は損失) 累積額の内訳：

	2016年度第3四半期末 (2016年12月31日現在)	2015年度末 (2016年3月31日現在)	増 減
為替換算調整額	△ 146,540	△ 138,921	△ 7,619
有価証券未実現損益	21,573	20,205	1,368
デリバティブ未実現損益	371	1,646	△ 1,275
年金債務調整額	△ 331,806	△ 351,258	19,452

(単位：百万円)

連 結 キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー 計 算 書

(単位：百万円)

	2016年度 〔2016年4月1日から 2016年12月31日まで〕	2015年度 〔2015年4月1日から 2015年12月31日まで〕
<u>I 営業活動に関するキャッシュ・フロー</u>		
1. 当期純利益	187,992	178,313
2. 営業活動に関するキャッシュ・フローへの調整		
(1)減価償却費	194,385	205,166
(2)有価証券の売却損益 (△は利益)	△ 174	△ 1,600
(3)売上債権の増減額 (△は増加)	△ 106,536	29,704
(4)棚卸資産の増減額 (△は増加)	△ 64,250	△ 86,198
(5)買入債務の増減額 (△は減少)	42,316	△ 9,434
(6)退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△ 27,603	△ 37,527
(7)その他の	△ 114,423	△ 55,786
計	111,707	222,638
<u>II 投資活動に関するキャッシュ・フロー</u>		
1. 投資及び貸付金の売却及び回収	11,219	6,015
2. 投資及び貸付金の増加	△ 7,037	△ 29,180
3. 有形固定資産の購入	△ 201,494	△ 173,863
4. 有形固定資産の売却	29,372	18,115
5. 定期預金の増減額 (△は増加)	146	18,470
6. その他の	△ 142,447	△ 46,870
計	△ 310,241	△ 207,313
<u>III 財務活動に関するキャッシュ・フロー</u>		
1. 短期債務の増減額 (△は減少)	4,867	8,570
2. 長期債務の増減額 (△は減少)	352,493	△ 48,365
3. 当社株主への配当金	△ 58,025	△ 46,322
4. 非支配持分への配当金	△ 10,835	△ 14,774
5. 自己株式の増減額 (△は増加)	△ 32	△ 99
6. その他の	12,192	△ 4,292
計	300,660	△ 105,282
IV 為替変動による現金及び現金同等物への影響額	29,910	△ 32,517
V 現金及び現金同等物の純増減額 (△は減少)	132,036	△ 122,474
VI 現金及び現金同等物期首残高	1,014,264	1,280,408
VII 現金及び現金同等物期末残高	1,146,300	1,157,934

(注記)

1. 当社は、2016 年 4 月 1 日に、米国の Hussmann Corporation の全株式を保有する Hussmann Parent Inc. の全株式を取得し、両社および傘下の子会社を連結子会社としました。
2. 当社は、2016 年 10 月 31 日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるパナソニック プラズマディスプレイ㈱（以下、「P P D」）を解散し、特別清算開始の申立てを行うこと、および当社の P P D に対する債権を放棄する旨の決議を行いました。
3. 当社は、2016 年 12 月 20 日開催の取締役会において、株式交換の方法により、当社連結子会社のパナホーム㈱を完全子会社化することを決議しました。
また、両社は同日付けで、当社を株式交換完全親会社とし、当該子会社を株式交換完全子会社とする株式交換契約を締結しました。
なお、本株式交換は、当該子会社が 2017 年 6 月に開催予定の定時株主総会における決議の承認を受けて行われる予定です。
4. 当社は、2016 年 12 月 20 日開催の取締役会において、株式交換の方法により、当社連結子会社のパナソニック デバイス S U N X ㈱を完全子会社化することを決議しました。
また、両社は同日付けで、当社を株式交換完全親会社とし、当該子会社を株式交換完全子会社とする株式交換契約を締結しました。
なお、本株式交換は、当該子会社が 2017 年 2 月に開催予定の臨時株主総会における決議の承認を受けて行われる予定です。
5. 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
6. 当社株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。
7. 重要な後発事象
該当事項はありません。
8. 2016 年度第 3 四半期末の連結子会社数は 497 社、持分法適用関連会社数は 96 社です。



平成 29 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成 29 年 2 月 2 日

上場会社名 パナソニック株式会社
 コード番号 6752
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 津賀 一宏
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート戦略本部 経営企画部長 (氏名) 原田 秀昭
 四半期報告書提出予定日 平成 29 年 2 月 10 日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (マスコミ向けおよび証券アナリスト・機関投資家向け)

上場取引所 東証・名証第一部
 URL <http://www.panasonic.com/jp>
 TEL (06) 6908-1121

(百万円未満四捨五入)

1. 平成 29 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	税引前利益	当社株主に帰属する 四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
29 年 3 月期第 3 四半期	5,350,028 (△5.7)	240,557 (△24.9)	231,839 (△8.9)	175,385 (9.5)
28 年 3 月期第 3 四半期	5,671,314 (△0.8)	320,254 (10.3)	254,496 (22.3)	160,220 (14.1)

(注) 当社株主に帰属する四半期包括利益 29 年 3 月期第 3 四半期 187,311 百万円 (33.0%) 28 年 3 月期第 3 四半期 140,824 百万円 (△63.7%)

	1 株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益	希薄化後 1 株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29 年 3 月期第 3 四半期	75 56	75 54
28 年 3 月期第 3 四半期	69 18	69 17

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計	当社株主資本	当社株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
29 年 3 月期第 3 四半期	6,145,007	1,981,804	1,835,236	29.9
28 年 3 月期	5,596,982	1,854,314	1,705,056	30.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28 年 3 月期	— —	10 00	— —	15 00	25 00
29 年 3 月期	— —	10 00	— —		
29 年 3 月期 (予想)				— —	— —

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成 29 年 3 月期の期末配当予想については未定ですが、下限を 10 円とすることを決定しております。

3. 平成 29 年 3 月期の連結業績予想 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期純利益	基本的 1 株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
国際財務報告基準ベース通期	7,350,000 (—)	265,000 (—)	260,000 (—)	130,000 (—)	55 99

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2 当社は、平成 29 年 3 月期の年間決算より国際財務報告基準 (IFRS) を任意適用いたします。

平成 29 年 3 月期の連結業績予想は IFRS に基づき作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年3月期 第3四半期	2,453,053,497株	28年3月期	2,453,053,497株
② 期末自己株式数	132,087,930株	28年3月期	132,057,190株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2,320,983,890株	28年3月期 第3四半期	2,316,065,598株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、平成29年3月期の年間決算より国際財務報告基準(IFRS)を任意適用いたします。このため平成29年3月期の連結業績予想はIFRSに基づき作成しています。

業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手可能な情報と、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。業績予想の前提となる仮定および業績見通しのご利用にあたっての注意事項等については、「経営成績及び財政状態」に記載された＜将来見通しに関するリスク情報＞をご覧ください。

決算補足説明資料は平成29年2月2日に当社ホームページに掲載いたします。また、当社は同日にマスコミ向けおよび証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開始後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

経営成績及び財政状態

(1) 2016年度第3四半期（2016年4月1日～12月31日）の概況

(A) 経営成績

	2016年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	前年 同期比
売上高	5兆3,500億円	5兆6,713億円	94%
営業利益	2,406億円	3,203億円	75%
税引前利益	2,318億円	2,545億円	91%
当社株主に帰属する 当期純利益	1,754億円	1,602億円	109%

2016年度第3四半期の世界経済は、米国が堅調な個人消費や設備投資の改善などを背景に回復傾向、中国も過度な減速懸念が和らいでおり、全体としては緩やかな回復基調となりました。日本では個人消費が足踏みを続ける一方、輸出などで一部持ち直しの動きが見られました。今後も、概ね緩やかな回復が続くとみられる一方で、リスク要因としては、新興国経済の悪化や金融市場の変動、各国の政治・政策動向などが考えられます。

このような経営環境のもと、当社は2018年度に目指す経営目標の実現に向けて、2016年度を成長事業への仕込みを行う「足場固めの年」と位置づけ、様々な取り組みを進めています。

具体的な取り組みとしては、住宅事業では、2016年4月に当社とパナホーム㈱のリフォームブランドを「Panasonic リフォーム」に統一しました。12月には、パナホーム㈱を株式交換により、2017年8月に完全子会社化すると発表しました。これまで以上に連携を深め、双方の経営資源を最大限に活用した事業戦略を推進していきます。また2016年12月には、テスラモーターズ社と提携し、太陽電池セルとモジュールを米国で生産することも発表しました。

B2B事業では、中核の一つである食品流通事業において米国のハスマン社を買収し、2016年4月に連結子会社としました。9月には、2017年4月にAVCネットワークス社を母体に組織再編を行い、新しい社内分社「コネクティッドソリューションズ社」を設立すると発表しました。また2016年12月には、パナソニック デバイスSUNX㈱を株式交換により、2017年3月に完全子会社化すると発表しました。これにより、当社グループとしてのFA機器事業の一層の強化を図っていきます。

当第3四半期の連結売上高は、円高による為替の影響が大きく、5兆3,500億円（前年同期比6%減）となりましたが、実質ベースでは増収となります。国内売上高は、家電販売や車載向け事業は堅調でしたが、住宅用太陽光発電システムの販売が苦戦し、全体では減収となりました。海外売上高は、新規連結のハスマン社の売上が加わったうえに、二次電池、メカトロニクスの販売が好調でしたが、為替が影響し、全体では減収となりました。

営業利益は、2,406億円（前年同期比25%減）となりました。合理化等の取り組みを継続するものの、将来の成長に向けた先行投資としての固定費増加や、住宅用太陽光発電システムの減販に伴う利益の減少に加え、為替が大きく影響しました。

税引前利益は、事業構造改革費用が前年同期より減少したことなどにより、2,318億円（前年同期比9%減）となりました。当社株主に帰属する当期純利益は、連結子会社の清算を決議したことに伴う繰延税金資産の追加計上（法人税等の減少）等で、1,754億円（前年同期比9%増）となりました。

(B) 経営成績(セグメント別情報)

a. アプライアンス

	2016年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	前年 同期比
売上高	1兆8,052億円	1兆7,885億円	101%
セグメント利益※	1,025億円	681億円	151%

アプライアンスの売上高は、1兆8,052億円（前年同期比1%増）となりました。為替の影響を受けたものの、国内とアジアの家電販売が好調を維持するとともに、ハスマン社の新規連結により増収となりました。セグメント利益は、ハスマン社に加え、白物家電や4Kテレビ等の高付加価値商品シフトによる収益性の改善等により、前年同期に比べ増益の1,025億円となりました。

b. エコソリューションズ

	2016年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	前年 同期比
売上高	1兆1,187億円	1兆1,697億円	96%
セグメント利益※	461億円	587億円	78%

エコソリューションズの売上高は、1兆1,187億円（前年同期比4%減）となりました。住宅用太陽光発電システム事業が、国内市場の縮小や価格下落の影響を大きく受け、減収となりました。セグメント利益も、同事業の減販等により、前年同期に比べ減益の461億円となりました。

c. AVCネットワークス

	2016年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	前年 同期比
売上高	7,515億円	8,608億円	87%
セグメント利益※	415億円	539億円	77%

AVCネットワークスの売上高は、7,515億円（前年同期比13%減）となりました。為替影響に加え、熊本地震により映像・イメージング事業において部品調達に影響が生じたことや、固定電話等のコミュニケーション事業の海外販売が減少したこともあり、減収となりました。セグメント利益は、為替の影響に加え、前年同期に特需があったソリューション事業の反動影響が大きく、前年同期に比べ減益の415億円となりました。

d. オートモーティブ&インダストリアルシステムズ

	2016年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	前年 同期比
売上高	1兆9,029億円	2兆632億円	92%
セグメント利益※	855億円	889億円	96%

オートモーティブ&インダストリアルシステムズの売上高は、1兆9,029億円（前年同期比8%減）となりました。車載向け事業は伸長しましたが、為替が大きく影響したほか、液晶パネル事業の縮小の影響や、第2四半期までのICT向けデバイス事業の減販もあり、全体でも減収となりました。セグメント利益は、為替の影響に加え、二次電池などの車載向け先行投資による固定費の増加等もあり、前年同期に比べ減益の855億円となりました。

e. その他

	2016年度 第3四半期	2015年度 第3四半期	前年 同期比
売上高	4,003億円	4,023億円	100%
セグメント利益※	△24億円	31億円	—

その他の売上高は、4,003億円と、前年同期と同水準となりました。セグメント利益は、パナホームにおける固定費増加の影響等もあり、24億円の損失となりました。

※「セグメント利益」は、2016年度より従来の営業利益にかえて、営業利益に、金融収支および為替差損益を除いた営業外損益項目等を加味した数値を用いております。2015年度の「セグメント利益」についても、2016年度と同じ方法で算出しております。

(C)財政状態

当第3四半期の営業活動により増加したキャッシュ・フローは1,117億円（前年同期は2,226億円の増加）となりました。前年同期差の主な要因は、売上債権の増加によるものです。投資活動により減少したキャッシュ・フローは3,102億円（前年同期は2,073億円の減少）となりました。前年同期差の主な要因は、ハスマン社の取得によるものです。この結果、フリーキャッシュ・フローは、マイナス1,985億円（前年同期差2,139億円減）となりました。また、財務活動により増加したキャッシュ・フローは3,007億円（前年同期は1,053億円の減少）となりました。前年同期差の主な要因は、総額4,000億円の普通社債の発行によるものです。これらに為替変動の影響を加味した結果、当第3四半期末で現金及び現金同等物の残高は1兆1,463億円となり、前年度末に比べ1,320億円増加しました。

当第3四半期末の総資産は6兆1,450億円となり、前年度末に比べ5,480億円増加しました。これは、ハスマン社の取得に伴うのれん等の計上によるその他の資産の増加や、季節要因による売上債権や棚卸資産の増加、現金及び現金同等物の増加などによるものです。負債は、普通社債の発行などにより、前年度末に比べ4,205億円増加し、4兆1,632億円となりました。当社株主資本は、当社株主に帰属する当期純利益の計上などにより、前年度末に比べ1,302億円増加し、1兆8,352億円となりました。また、当社株主資本に非支配持分を加味した資本合計は、1兆9,818億円となりました。

(2) 2016 年度通期の見通し

連結通期業績見通しの売上高、営業利益、税引前利益および親会社の所有者に帰属する当期純利益の各数値について、前回公表時の想定為替レートから円安が進んだことに伴う為替換算影響を織り込み、上方修正いたします。

連結業績見通し(IFRS ベース)

売	上	高	7兆3,500億円
営	業	利	2,650億円
税	引	前	2,600億円
親会社の所有者に帰属する当期純利益			1,300億円

(注) 上記の連結業績見通しは、国際財務報告基準 (IFRS) に基づき作成しております。

＜将来見通しに関するリスク情報＞

業績見通しは、現時点で入手可能な情報と、当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。

その要因のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、当社の有価証券報告書等にも記載されていますのでご参照ください。

なお、2017年3月期の連結業績予想は、国際財務報告基準 (IFRS) に基づき作成していますので、ご留意ください。

- ・米州、欧州、日本、中国その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費および企業による設備投資の動向
- ・多岐にわたる製品・地域市場におけるエレクトロニクス機器および部品に対する産業界や消費者の需要の変動
- ・ドル、ユーロ、人民元等の対円為替相場の過度な変動により外貨建てで取引される製品・サービスなどのコストおよび価格が影響を受ける可能性
- ・資金調達環境の変化等により、パナソニックグループの資金調達コストが増加する可能性
- ・急速な技術革新および変わりやすい消費者嗜好に対応し、新製品を価格・技術競争の激しい市場へ遅滞なくかつ低コストで投入することができない可能性
- ・他企業との提携または企業買収等で期待どおりの成果を上げられない、または予期しない損失を被る可能性
- ・パナソニックグループが他企業と提携・協調する事業の動向 (BtoB (企業向け) 分野における、依存度の高い特定の取引先からの企業努力を上回る価格下落圧力や製品需要の減少等の可能性を含む)
- ・多岐にわたる製品分野および地域において競争力を維持することができなくなる可能性
- ・製品やサービスに関する何らかの欠陥・瑕疵等により費用負担が生じる可能性
- ・第三者の特許その他の知的財産権を使用する上での制約
- ・諸外国による現在および将来の貿易・通商規制、労働・生産体制への何らかの規制等 (直接・間接を問わない)
- ・パナソニックグループが保有する有価証券およびその他資産の時価や有形固定資産、のれんなどの長期性資産および繰延税金資産等の評価の変動、その他会計上の方針や規制の変更・強化
- ・ネットワークを介した不正アクセス等により、当社システムから顧客情報・機密情報が外部流出する、あるいは、ネットワーク接続製品に脆弱性が発見され、多大な対策費用負担が生じる可能性
- ・地震等自然災害の発生、感染症の世界的流行、サプライチェーンの寸断、その他パナソニックグループの事業活動に混乱を与える可能性のある要素

以 上

2016年度 第3四半期 連結決算補足資料

(注) 2016年度より、一部のセグメント区分を変更しております。2015年度のセグメント情報については、2016年度の形態に合わせて組み替えて算出しております。

1. セグメント情報

(単位: 億円)

	2016年度 第3四半期					2016年度 第3四半期累計				
	売上高	前年比	セグメント利益※1	利益率	前年比	売上高	前年比	セグメント利益※1	利益率	前年比
ア プ ラ イ ア ン ス (AP)	6,201	102%	310	5.0%	123%	18,052	101%	1,025	5.7%	151%
エ コ ソ リ ュ ー シ ョ ン ズ (ES)	3,928	97%	252	6.4%	100%	11,187	96%	461	4.1%	78%
A V C ネ ッ ト ワ ー ク ス (AVC)	2,591	91%	158	6.1%	79%	7,515	87%	415	5.5%	77%
オ ー ト モ ー テ ィ ブ & インダストリアルシステムズ (AIS)	6,525	96%	204	3.1%	118%	19,029	92%	855	4.5%	96%
そ の 他	1,388	107%	-30	-2.2%	-	4,003	100%	-24	-0.6%	-
計	20,633	98%	894	4.3%	105%	59,786	95%	2,732	4.6%	100%
消 去 ・ 調 整	-2,088	-	66	-	-	-6,286	-	-326	-	-
合 計	18,545	97%	960	5.2%	80%	53,500	94%	2,406	4.5%	75%
アプライアンス(製販連結) ※2	6,883	99%	313	4.6%	125%	19,683	100%	998	5.1%	157%

※1 「セグメント利益」は、2016年度より従来の営業利益にかえて、営業利益に、金融収支および為替差損益を除いた営業外損益項目等を加味した数値を用いております。2015年度の「セグメント利益」についても、2016年度と同じ方法で算出しております。
「セグメント利益」の「消去・調整」欄には、各セグメントの利益に加味される営業外損益項目等の消去に加えて、セグメント業績の管理上、特定のセグメントに帰属しない収益および費用や、連結会計上の調整項目(一部の無形資産償却・会計基準差異等)が含まれております。
「セグメント利益」の「合計」欄は、全社連結決算の営業利益に合致させております。

※2 「アプライアンス(製販連結)」は、「消去・調整」に含まれているコンシューマ商品の販売部門の売上高およびセグメント利益が含まれております。

2. 事業部情報

(単位: 億円)

		2016年度 第3四半期		2016年度 第3四半期累計	
		売上高	前年比	売上高	前年比
AP※1 (製販連結)	エ ア コ ン 事 業	902	93%	3,544	97%
	食 品 流 通 事 業	650	183%	2,025	185%
	ス モ ー ル ・ ビ ル ト イ ン 事 業	1,111	94%	3,010	95%
	メ ジ ャ ー 事 業	1,372	103%	3,862	100%
	A V 事 業	1,436	89%	3,520	90%
ES	ラ イ テ ィ ン グ 事 業 部	854	96%	2,269	95%
	エ ナ ジ ー シ ス テ ム 事 業 部	820	90%	2,366	86%
	ハウジングシステム事業部	985	101%	2,722	99%
	パナソニックエコシステムズ㈱	385	95%	1,120	98%
AVC※2	モ ビ リ テ ィ 事 業	464	93%	1,330	90%
	映 像 ・ イ メ ー ジ ン グ 事 業	639	91%	1,799	86%
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 事 業	253	79%	791	76%
	ソ リ ュ ー シ ョ ン 事 業	1,145	97%	3,296	92%
AIS※3	オ ー ト モ ー テ ィ ブ 事 業	1,679	95%	4,890	94%
	エ ナ ジ ー 事 業	1,387	109%	3,651	100%
	インダストリアル事業	2,150	92%	6,532	88%
	ファクトリーソリューション事業	364	98%	1,108	91%

※1 アプライアンスの各事業を構成する事業部は以下のとおりです。なお、各事業部の数値は製販連結ベースです。

- ・ エアコン事業 : エアコンカンパニー
- ・ 食品流通事業 : コールドチェーン事業部、Husmann Corporation
- ・ スモール・ビルトイン事業 : キッチンアプライアンス事業部、ビューティ・リビング事業部
- ・ メジャー事業 : 冷蔵庫事業部、ランドリー・クリーナー事業部
- ・ AV事業 : テレビ事業部、ホームエンターテインメント事業部

※2 AVCネットワークスの各事業を構成する事業部等は以下のとおりです。

- ・ モビリティ事業 : ITプロダクツ事業部、ストレージ事業部
- ・ 映像・イメージング事業 : イメージングネットワーク事業部、ビジュアルシステム事業部、セキュリティシステム事業部
- ・ コミュニケーション事業 : コミュニケーションプロダクツ事業部、オフィスプロダクツ事業部
- ・ ソリューション事業 : Panasonic Avionics Corporation、国内/海外ソリューション

※3 オートモーティブ&インダストリアルシステムズの各事業を構成する事業部は以下のとおりです。

- ・ オートモーティブ事業 : インフォテインメントシステム事業部、車載エレクトロニクス事業部
- ・ エナジー事業 : 二次電池事業部、エナジーデバイス事業部
- ・ インダストリアル事業 : メカトロニクス事業部、パナソニック セミコンダクターソリューションズ株式会社、デバイスソリューション事業部、電子材料事業部、パナソニック液晶ディスプレイ株式会社
- ・ ファクトリーソリューション事業 : スマートファクトリーソリューション事業部

3. 地域別売上高

(単位:億円)

		2016年度 第3四半期		2016年度 第3四半期累計		
			円ベース 前年比	現地通貨 ベース 前年比	円ベース 前年比	現地通貨 ベース 前年比
国	内	9,127	100%	100%	25,926	99%
海	外	9,418	94%	105%	27,574	90%
	米	3,220	103%	112%	9,322	100%
	欧	1,585	81%	92%	4,551	84%
	ア	2,407	92%	100%	7,312	90%
	中	2,206	97%	112%	6,389	84%
合	計	18,545	97%	103%	53,500	94%

4. セグメント別設備投資額

(単位:億円)

	2016年度 第3四半期		2016年度 第3四半期累計	
		前年差		前年差
ア	130	+33	302	+10
エ	71	-15	224	-32
A	53	+2	153	-20
オ	495	+213	1,060	+296
そ	97	+47	229	+105
合	846	+280	1,968	+359

(注) 発生ベースでの設備投資額

5. 為替レート

	連結換算レート				
	2015年度 第3四半期	2015年度 第3四半期累計	2015年度 年間	2016年度 第3四半期	2016年度 第3四半期累計
米	¥122	¥122	¥120	¥109	¥107
ユ	¥133	¥134	¥133	¥118	¥118
人	¥18.9	¥19.3	¥18.9	¥16.0	¥16.0

(注) 期中平均レート

6. 従業員数

(単位:人)

	2015年12月末	2016年3月末	2016年9月末	2016年12月末
国	104,853	104,067	104,898	104,526
海	147,751	145,453	151,235	151,449
合	252,604	249,520	256,133	255,975

7. 2016年度 年間見通し(国際財務報告基準ベース)

当社は、2016年度年間決算から、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用いたします。このため、2016年度の年間見通しはIFRSに基づき作成しています。なお、前年比についても、IFRSベース(非監査)で算出しております。

(1) セグメント情報(IFRSベース)

(単位:億円)

	2016年10月31日時点					2017年2月2日時点				
	売上高	前年比	営業利益	利益率	前年比	売上高	前年比	営業利益	利益率	前年比
ア プ ラ イ ア ン ス	22,800	100%	1,030	4.5%	173%	23,000	101%	1,030	4.5%	173%
エ コ ソ リ ュ ー シ ョ ン ズ	15,700	99%	790	5.0%	104%	15,800	99%	790	5.0%	104%
A V C ネ ッ ト ワ ー ク ス	10,450	89%	500	4.8%	72%	10,750	92%	550	5.1%	80%
オ ー ト モ ー テ ィ ー プ & イ ン ダ ス ト リ ア ル シ ス テ ム ズ	24,700	91%	930	3.8%	185%	25,200	93%	1,050	4.2%	209%
そ の 他	6,300	97%	50	0.8%	35%	6,400	99%	50	0.8%	35%
計	79,950	95%	3,300	4.1%	123%	81,150	97%	3,470	4.3%	129%
消 去 ・ 調 整 ※1	-7,950	-	-850	-	-	-7,650	-	-820	-	-
合 計	72,000	94%	2,450	3.4%	106%	73,500	96%	2,650	3.6%	115%
アプライアンス(製販連結) ※2	25,000	100%	1,030	4.1%	189%	25,300	101%	1,030	4.1%	189%

※1 「消去・調整」欄には、セグメント業績の管理上、特定のセグメントに帰属しない収益および費用や、連結会計上の調整項目(一部の無形資産償却・会計基準差異等)が含まれております。

※2 「アプライアンス(製販連結)」は、「消去・調整」に含まれているコンシューマ商品の販売部門の売上高およびセグメント利益が含まれております。

(2) 為替レート

	連結換算レート	
	2016年10月31日時点	2017年2月2日時点
米 ド ル	¥103	¥108
ユ ー ロ	¥114	¥119
人 民 元	¥15.5	¥15.9

(注) 期中平均レート

将来見通しに関するリスク情報

※業績見通しは、現在入手可能な情報と、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。その要因のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、当社の有価証券報告書等にも記載されておりますのでご参照ください。なお、2017年3月期の連結業績予想は国際財務報告基準(IFRS)に基づき作成しています。

- ・米州、欧州、日本、中国その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費および企業による設備投資の動向
- ・多岐にわたる製品・地域市場におけるエレクトロニクス機器および部品に対する産業界や消費者の需要の変動
- ・ドル、ユーロ、人民元等の対円為替相場の変動により外貨建てで取引される製品・サービスなどのコストおよび価格が影響を受ける可能性
- ・資金調達環境の変化等により、パナソニックグループの資金調達コストが増加する可能性
- ・急速な技術革新および変わりやすい消費者嗜好に対応し、新製品を価格・技術競争の激しい市場へ遅滞なくかつ低コストで投入することができない可能性
- ・他企業との提携または企業買収等で期待どおりの成果を上げられない、または予期しない損失を被る可能性
- ・パナソニックグループが他企業と提携・協調する事業の動向(BtoB(企業向け)分野における、依存度の高い特定の取引先からの企業努力を上回る価格下落圧力や製品需要の減少等の可能性を含む)
- ・多岐にわたる製品分野および地域において競争力を維持することができなくなる可能性
- ・製品やサービスに関する何らかの欠陥・瑕疵等により費用負担が生じる可能性
- ・第三者の特許その他の知的財産権を使用する上での制約
- ・諸外国による現在および将来の貿易・通商規制、労働・生産体制への何らかの規制等(直接・間接を問わない)
- ・パナソニックグループが保有する有価証券およびその他資産の時価や有形固定資産、のれんなどの長期性資産および繰延税金資産等の評価の変動、その他会計上の方針や規制の変更・強化
- ・ネットワークを介した不正アクセス等により、当社システムから顧客情報・機密情報が外部流出する、あるいはネットワーク接続製品に脆弱性が発見され、多大な対策費用負担が生じる可能性
- ・地震等自然災害の発生、感染症の世界的流行、サプライチェーンの寸断、その他パナソニックグループの事業活動に混乱を与える可能性のある要素

<別紙1>(参考)

2016年度 四半期別 セグメント情報

売上高

(単位:億円)

	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)
ア プ ラ イ ア ン ス	6,163	5,688	6,201
エ コ ソ リ ュ ー シ ョ ン ズ	3,502	3,757	3,928
A V C ネ ッ ト ワ ー ク ス	2,499	2,425	2,591
オ ー ト モ ー テ ィ ブ & イ ン ダ ス ト リ ア ル シ ス テ ム ズ	6,174	6,330	6,525
そ の 他	1,170	1,445	1,388
計	19,508	19,645	20,633
消 去 ・ 調 整	-2,023	-2,175	-2,088
合 計	17,485	17,470	18,545
アプライアンス(製販連結) ※1	6,720	6,080	6,883

セグメント利益

※2

(単位:億円)

	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)
ア プ ラ イ ア ン ス	444	271	310
エ コ ソ リ ュ ー シ ョ ン ズ	50	159	252
A V C ネ ッ ト ワ ー ク ス	129	128	158
オ ー ト モ ー テ ィ ブ & イ ン ダ ス ト リ ア ル シ ス テ ム ズ	182	469	204
そ の 他	-35	41	-30
計	770	1,068	894
消 去 ・ 調 整	-101	-291	66
合 計	669	777	960
アプライアンス(製販連結) ※1	423	261	313

※1 「アプライアンス(製販連結)」は、「消去・調整」に含まれているコンシューマ商品の販売部門の売上高およびセグメント利益が含まれております。

※2 「セグメント利益」は、2016年度より従来の営業利益にかえて、営業利益に、金融収支および為替差損益を除いた営業外損益項目等を加味した数値を用いております。
2015年度の「セグメント利益」についても、2016年度と同じ方法で算出しております。

「セグメント利益」の「消去・調整」欄には、各セグメントの利益に加味される営業外損益項目等の消去に加えて、セグメント業績の管理上、特定のセグメントに帰属しない収益および費用や、連結会計上の調整項目(一部の無形資産償却・会計基準差異等)が含まれております。

「セグメント利益」の「合計」欄は、全社連結決算の営業利益に合致させております。

<別紙2>(参考)

2015年度 四半期別 セグメント情報

(注) 2015年度のセグメント情報については、2016年度の形態に合わせて組み替えて算出しております。

売上高

(単位:億円)

	第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)	第3四半期 (10～12月)
ア プ ラ イ ア ン ス	6,065	5,713	6,107
エ コ ソ リ ュ ー シ ョ ン ズ	3,660	3,969	4,068
A V C ネ ッ ト ワ ー ク ス	2,756	3,005	2,847
オ ー ト モ ー テ ィ ブ & イ ン ダ ス ト リ ア ル シ ス テ ム ズ	6,966	6,900	6,766
そ の 他	1,195	1,532	1,296
計	20,642	21,119	21,084
消 去 ・ 調 整	-2,064	-2,093	-1,975
合 計	18,578	19,026	19,109
アプライアンス(製販連結) ※1	6,606	6,147	6,933

セグメント利益 ※2

(単位:億円)

	第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)	第3四半期 (10～12月)
ア プ ラ イ ア ン ス	258	171	252
エ コ ソ リ ュ ー シ ョ ン ズ	97	238	252
A V C ネ ッ ト ワ ー ク ス	59	281	199
オ ー ト モ ー テ ィ ブ & イ ン ダ ス ト リ ア ル シ ス テ ム ズ	342	374	173
そ の 他	-13	67	-23
計	743	1,131	853
消 去 ・ 調 整	23	108	345
合 計	766	1,239	1,198
アプライアンス(製販連結) ※1	234	152	251

※1 「アプライアンス(製販連結)」は、「消去・調整」に含まれているコンシューマ商品の販売部門の売上高およびセグメント利益が含まれております。

※2 「セグメント利益」は、2016年度より従来の営業利益にかえて、営業利益に、金融収支および為替差損益を除いた営業外損益項目等を加味した数値を用いております。
2015年度の「セグメント利益」についても、2016年度と同じ方法で算出しております。

「セグメント利益」の「消去・調整」欄には、各セグメントの利益に加味される営業外損益項目等の消去に加えて、セグメント業績の管理上、特定のセグメントに帰属しない収益および費用や、連結会計上の調整項目(一部の無形資産償却・会計基準差異等)が含まれております。

「セグメント利益」の「合計」欄は、全社連結決算の営業利益に合致させております。

<別紙3>(参考)

2016年度 四半期別 事業部情報(売上高)

(単位:億円)

		第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)	第3四半期 (10～12月)
AP※1 (製販連結)	エ ア コ ン 事 業	1,551	1,091	902
	食 品 流 通 事 業	722	653	650
	ス モ ー ル・ビ ル ト イ ン 事 業	974	925	1,111
	メ ジ ャ ー 事 業	1,198	1,292	1,372
	A V 事 業	1,076	1,008	1,436
ES	ラ イ テ ィ ン グ 事 業 部	670	745	854
	エ ナ ジ ー シ ス テ ム 事 業 部	748	797	820
	ハ ウ ジ ン グ シ ス テ ム 事 業 部	824	913	985
	パ ナ ソ ニ ッ ク エ コ シ ス テ ム ズ (株)	379	356	385
AVC※2	モ ビ リ テ ィ 事 業	459	408	464
	映 像 ・ イ メ ー ジ ン グ 事 業	594	566	639
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 事 業	271	267	253
	ソ リ ュ ー シ ョ ン 事 業	1,061	1,089	1,145
AIS※3	オ ー ト モ ー テ ィ ブ 事 業	1,613	1,598	1,679
	エ ナ ジ ー 事 業	1,076	1,188	1,387
	イ ン ダ ス ト リ ア ル 事 業	2,188	2,194	2,150
	フ ァ ク ト リ ー ソ リ ュ ー シ ョ ン 事 業	359	384	364

※1 アプライアンスの各事業を構成する事業部は以下のとおりです。なお、各事業部の数値は製販連結ベースです。

- ・エアコン事業 : エアコンカンパニー
- ・食品流通事業 : コールドチェーン事業部、Hussmann Corporation
- ・スモール・ビルトイン事業 : キッチンアプライアンス事業部、ビューティ・リビング事業部
- ・メジャー事業 : 冷蔵庫事業部、ランドリー・クリーナー事業部
- ・AV事業 : テレビ事業部、ホームエンターテインメント事業部

※2 AVCネットワークスの各事業を構成する事業部等は以下のとおりです。

- ・モビリティ事業 : ITプロダクツ事業部、ストレージ事業部
- ・映像・イメージング事業 : イメージングネットワーク事業部、ビジュアルシステム事業部、セキュリティシステム事業部
- ・コミュニケーション事業 : コミュニケーションプロダクツ事業部、オフィスプロダクツ事業部
- ・ソリューション事業 : Panasonic Avionics Corporation、国内/海外ソリューション

※3 オートモーティブ&インダストリアルシステムズの各事業を構成する事業部は以下のとおりです。

- ・オートモーティブ事業 : インフォテインメントシステム事業部、車載エレクトロニクス事業部
- ・エナジー事業 : 二次電池事業部、エナジーデバイス事業部
- ・インダストリアル事業 : メカトロニクス事業部、パナソニック セミコンダクターソリューションズ株式会社、デバイスソリューション事業部、電子材料事業部、パナソニック液晶ディスプレイ株式会社
- ・ファクトリーソリューション事業 : スマートファクトリーソリューション事業部

<別紙4>(参考)

2015年度 四半期別 事業部情報(売上高)

(注) 2015年度の事業部情報については、2016年度の形態に合わせて組み替えて算出しております。

(単位:億円)

		第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)	第3四半期 (10～12月)
AP※1 (製販連結)	エ ア コ ン 事 業	1,618	1,086	965
	食 品 流 通 事 業	393	345	356
	ス モ ー ル・ビ ル ト イ ン 事 業	991	997	1,180
	メ ジ ャ ー 事 業	1,219	1,330	1,329
	A V 事 業	1,126	1,174	1,620
ES	ラ イ テ ィ ン グ 事 業 部	715	778	894
	エ ナ ジ ー シ ス テ ム 事 業 部	900	941	907
	ハ ウ ジ ン グ シ ス テ ム 事 業 部	856	928	977
	パ ナ ソ ニ ッ ク エ コ シ ス テ ム ズ (株)	369	370	407
AVC※2	モ ビ リ テ ィ 事 業	480	507	498
	映 像 ・ イ メ ー ジ ン グ 事 業	643	753	704
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 事 業	351	368	322
	ソ リ ュ ー シ ョ ン 事 業	1,139	1,255	1,186
AIS※3	オ ー ト モ ー テ ィ ブ 事 業	1,709	1,730	1,771
	エ ナ ジ ー 事 業	1,146	1,243	1,270
	イ ン ダ ス ト リ ア ル 事 業	2,539	2,532	2,324
	ファクトリーソリューション事業	457	384	373

※1 アプライアンスの各事業を構成する事業部は以下のとおりです。なお、各事業部の数値は製販連結ベースです。

- ・エアコン事業 : エアコンカンパニー
- ・食品流通事業 : コールドチェーン事業部、Husmann Corporation
- ・スモール・ビルトイン事業 : キッチンアプライアンス事業部、ビューティ・リビング事業部
- ・メジャー事業 : 冷蔵庫事業部、ランドリー・クリーナー事業部
- ・AV事業 : テレビ事業部、ホームエンターテインメント事業部

※2 AVCネットワークスの各事業を構成する事業部等は以下のとおりです。

- ・モビリティ事業 : ITプロダクツ事業部、ストレージ事業部
- ・映像・イメージング事業 : イメージングネットワーク事業部、ビジュアルシステム事業部、セキュリティシステム事業部
- ・コミュニケーション事業 : コミュニケーションプロダクツ事業部、オフィスプロダクツ事業部
- ・ソリューション事業 : Panasonic Avionics Corporation、国内/海外ソリューション

※3 オートモーティブ&インダストリアルシステムズの各事業を構成する事業部は以下のとおりです。

- ・オートモーティブ事業 : インフォテインメントシステム事業部、車載エレクトロニクス事業部
- ・エナジー事業 : 二次電池事業部、エナジーデバイス事業部
- ・インダストリアル事業 : メカトロニクス事業部、パナソニック セミコンダクターソリューションズ株式会社、デバイスソリューション事業部、電子材料事業部、パナソニック液晶ディスプレイ株式会社
- ・ファクトリーソリューション事業 : スマートファクトリーソリューション事業部